

令和7年度9月 一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会 資料本体

日時：令和7年9月13日(土) 15:00～18:00

場所：ハービス PLAZA 5階 会議室(8.9.10)

出席者 35名(敬称略)

<会長> 貴島 浩二 <副会長> 白木 隆士 木下 裕介 堀口 泰輔 宮崎 浩

<理事> 重栖 孝 榎本 誠 大窪 博 小坂 理也 越宗 勝 清水 広太 神藤 佳孝
竹口 輝彦 調子 和則 中川 浩彰 中野 晋吾 橋本 和喜 長谷川利雄 葉山 悦伸
藤本 啓治 邊見 俊一 増田 博 宮崎 浩 宮田 重樹 山口 眞一 山本 善哉
吉田 清志 吉川 尚孝 吉村 弘治 和田 孝彦

<特別出席者> 無し

<監事> 黒田 晃司 栗本 一孝 前中 孝文 <オブザーバー> 右近 良治 山本 哲

定刻になり出席者数が定数を満たすことを確認し、令和7年9月理事会が開始された。

[協議事項]

1、令和7年3月O C O A議事録承認 資料1

中野理事

承認された

2、研修会実施予定

宮崎副会長

以下の講演の開催が承認された

第378回大阪臨床整形外科医会研修会

(令和7年9月27日 TKPガーデンシティPREMIUM大阪梅田新道) 共催 第一三共

受付 中野晋吾 先生 山本善哉 先生 司会 濱田泰彦 先生

講演Ⅰ：「いたみ診療における聴くスキル・伝えるスキル

～患者さんの治療満足度を上げるために～」 座長：邊見俊一 先生

講師：岡山大学学術研究院医歯薬学域 運動器スポーツ医学講座 講師 鉄永倫子先生

講演Ⅱ：「脊椎疾患に伴う疼痛と治療戦略」 座長 宮口正継 先生

講師：大阪公立大学 医学部医学研究科 整形外科学教室 主任教授 寺井秀富 先生

第379回大阪臨床整形外科医会研修会

(令和7年10月18日 TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前) 共催 帝人ヘルスケア

受付 岸本成人 先生 大窪 博 先生 司会 水沢慶一 先生

講演Ⅰ：「骨組織から考える骨粗鬆症薬剤治療～骨を見る、知る、学ぶ～」 座長：重栖 孝 先生

講師：新潟リハビリテーション病院 院長 山本 智章 先生

講演Ⅱ：「初期変形性膝関節症診療で意識したい“内側半月板逸脱”

ーエコーを用いた 簡便な評価法も含めてー」 座長 中塚映政 先生

講師：和歌山県立医科大学 整形外科 講師 福井 大輔 先生

第380回大阪臨床整形外科医会研修会

(令和7年11月15日 リーガロイヤルホテル 大阪ヴィニエット コレクション) 共催 久光製薬

講演Ⅰ:「運動器疼痛に対するアプローチ -薬物療法のキーポイント-」 座長:調子和則 先生

講師:和歌山労災病院 第二整形外科部長 麻殖生 和博 先生

講演Ⅱ:「股関節鏡手術の適応 - FAI とその他の疾患」 座長 村上仁志 先生

講師:済生会野江病院 柴田 弘太郎ロバーツ 先生

第1回大阪臨床整形外科医会産業医研修会

(令和8年1月31日 大阪府医師協同組合 会議室 8階大ホール) 15:30~

受付 邊見俊一 先生 明石健一 先生 司会 橋本和喜 先生

講演Ⅰ:「労働者のロコモ」 座長:吉村弘治先生

講師:医療法人誠樹会宮田医院 宮田重樹 先生

講演Ⅱ:「未定」 座長 片岡英一郎先生 講師:運動器ケア しまだ病院 島田永和 先生

3、令和7年度各務文献先生の追善法要開催について 中野理事

令和7年度 各務文献追善法要 令和6年10月26日(日) 午前10:30~11:30 浄春寺

本年度の追善法要の次第、clubOCA メールでの会員への案内案 が報告され、承認された。

4、OCA ホームページへの OCA 医業継承システムの掲載について 宮田理事

OCA ホームページ内の「医師・会員のみなさまへ」「会員の部屋」に掲載する。(資料2,3,5)

- ・OCA で第3者医業継承をスムーズに行えるようにシステムを周知する。
- ・勤務医のOCA 会員が医業継承での開業を希望された場合にOCA に入会していただき、希望地域で継承を考えておられるOCA 会員に紹介する。会長や副会長が仲介を行う。

承認された

5、新入会の協議を経て新入会の可否を早くするための提案 白木副会長

1、従来のOCA ホームページから入会希望は、申し込み後に入会書類一式を郵送するのでタイムロスが生じる。ホームページからJCOA とOCA の入会申し込みを同時にダウンロードしていただき、記入後に添付送信か郵送にて新入会係へ届けていただく。

2、入会条件として、医師会に入会していること、JOA の会員であることをHP で明記いただく。

以上2点により、時間的なロスを少なくしてOCA に早く入会していただける。

賛成多数で承認された

6、OCA 名誉会員及び特別会員に関する規則に、以下を追加する案 白木理事

(特別会員の資格喪失)

第6条:特別会員は、公益社団法人日本整形外科学会、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本臨床整形外科学会、のいずれかを退会したときは、その資格を失う。

(附則) の追加

6. この規則は令和7年9月〇日より施行する。

特別会員資格喪失後に会費が発生してしまう事に対応する必要があり、賛成多数で承認された。

7、日整会 100 周年事業 全国市民公開講座について 木下副会長 資料 2, 3 趣意書 (案)

「日本整形外科学会 100 周年記念 全国市民公開講座」開催概要

- (1) 日時： 令和 8 年 11 月 29 日 (日) 13:00~16:30 (予定)
- (2) 会場： エルセランホール(416 席) (大阪市北区堂島 1-5-25 エルセランホテル)
- (3) 名義： 主 催/ 大阪臨床整形外科医会 (OCA)

共 催/ 大阪府市民公開講座実行委員会、日本整形外科学会

※共催申込書は「ロコモ健康フォーラム」事務局宛てに 1 口 10 万円にて

協 催/ 日本臨床整形外科学会、日本整形外科勤務医会

後 援/ 在阪 5 大学整形外科学教室、全国ストップ・ザ・ロコモ協議会

協 賛 募集中

- (4) 内容：▽開会の挨拶 白木 隆士 (OCA 会長) (5 分)

▽講演 1 「未定」(40 分) 大阪ろうさい病院 総長 楽木宏実 先生

▽講演 2 「宮田・木下ロコトレ教室」(40 分) 宮田 重樹、木下 裕介

▽講演 3 「未定」 (50 分) 未知やすえ氏 (よしもと興業株式会社)

▽閉会の挨拶 未定 (OCA 副会長) (5 分)

※OCA ホームページ上でフォーラムの内容を掲載予定 ※パンフレット 2000 部作成予定

8、学校スポーツ相談医構想

木下副会長

- ・学校スポーツ相談医構想 (JCOA 長谷川利雄) の紹介 (資料 4)

文部科学省は平成 24~25 年に「学校の健康診断の在り方等に関する検討会」を開催し、その中の各論 (3) 「運動器に関する検診」においては、「運動器に関する検診の実施にあたっては、担任、保健体育の教諭、養護教諭、学校医等に対して、整形外科医等の専門的な立場から研修等を通じて助言を得る機会を積極的に設けることが重要である」と記されている。これに対し、運動器の健康・日本協会 (以下、協会) は、整形外科医ではなく理学療法士にその役割を担わせることを意図し、「スクールトレーナー制度」を提唱、この制度が継続的かつ有効に機能するよう、「認定スクールトレーナー制度」の構築が準備され、2023 年のモデル事業では全国 8 都道府県 11 地域で実施されている。

- ・「スクールトレーナー制度」の問題点

「理学療法士及び作業療法士法」において、理学療法士は「厚生労働大臣の免許を受けて医師の指示の下に理学療法を行う者」と定義され、医師の指示なしに業務を行うことは法的に問題がある。

- ・学校スポーツ相談医の提案

上述の「学校の健康診断の在り方等に関する検討会」の提言では、整形外科医による専門的助言が重要とされているが、現状では十分に対応できていない。今後は郡市区医師会と教育委員会が密接に連携している地域では、学校スポーツ相談医構想 について教育委員会へ説明を行うことを提案。あわせて養護教員へのアンケートを実施し、意見を収集する。

教育委員会から許可が出れば、アンケート実施から開始する、という事が承認された

9、大阪マラソン

大窪 理事

2025 大阪マラソン大会 2026 年 2 月 22 日（日）

- ・ 事前説明会 令和 8 年 1 月 29 日 午後 2 時から 3 時半
 - ・ 昨年同様に大阪マラソン出務依頼 52 名 資料 1 大窪理事
 - ・ 出務依頼は基本的に先年同様、各大学班長に出務依頼を依頼する他、OCOA ホームページに掲載（さらに“会員の部屋”のお知らせにも掲載＋会員全体メールでお知らせ）
 - ・ 今年以降も T シャツ作成をしない。
 - ・ 打ち上げ会会場は昨年同様マンハッタンクレインで予定。
buffスタイルでの予定、30 人以上の料理注文が必要（昨年打ち上げ会参加者 21 名）
 - ・ 地下鉄 1 日券は大会本部から配送されるグッズ（キャップや大会概要書）と一緒に配送予定
- 年々マラソン委員の辞退者が出現し、

①理事先生方のマラソン委員を兼任 ②マラソン委員は原則救護所出務か巡回に参加、を提案

①、② 含め上記承認された

1 0、令和 8、9 年大阪マラソン委員会

神藤理事

（資料 9）令和 8、9 年大阪マラソン委員会の委員一覧、が紹介された

1 1、総務委員会が管理している会員情報エクセル版を

ファイルメーカー（クラウド）に移行する件 神藤理事

情報管理を一元化することで、誤情報の拡散を避け、情報をクラウド管理することで情報セキュリティレベルを上げる狙いがある。情報にアクセスできるのはローカルサポートのみとする。

1 2、会員情報管理業務を総務委員会担当理事からローカルサポートに移管する件

神藤理事

通常、数十万円かかるファイル作成費用は無料で、維持管理費用として月 3,000 円程度を支払う。

1 3、club OCOA から会員情報をグーグルフォームにより収集する件

神藤理事

現状 OCOA 全員メーリングリストの club ocoa から新たに全員メーリングリストを構築するに際し、会員情報を下記 URL グーグルフォームより収集する件

- 1) 退会後のメール削除ができず、退会後も OCOA の情報が流れ、セキュリティ上問題がある。
- 2) 今回の情報収集でファイルメーカー情報を充実させ、連動した OCOA 全員メーリングリストの登録数を増やす目的もある。また新入会者に関してのメールアドレス登録は必須となっている。

1 1、1 2、1 3、いずれも承認された。

1 4、近畿ブロック会のメーリングリスト管理者交代の件

神藤理事

現職の岸本先生の承諾を得て、9 月から大阪の管理者を神藤＋ローカルサポートに交代する。

1 5、岸本成人先生への感謝状を贈呈する件 理事会後の懇親会招待も含めて

次回 12 月理 OCOA 事会終了後の懇親会に招待し、感謝状をお渡しする。

14、15、ともに承認された。

16、令和7年度会員名簿作成費用の値下げの件

誤植など不備もあったため、ローカルサポートより値下げの提案あり。承認された。

17、その他

お亡くなりになられた OCOA 会員の名簿上の記載(物故会員として)について議論された。

名誉会員・特別会員は残すべきという意見もあった。議会承認には至っていない。

[報告事項]

1、会員動態（前回の理事会以降）

白木副会長

令和7年8月28日現在 会員動態 報告

前回理事会 令和7年6月7日以降(正会員 462 名)以降 新入会 1 名(内正会員 1 名)

三山 彬(あきら)先生 令和7年6月10日入会、さらに直近で

須藤先生 上田先生、の2名が追加入会となった。

前回理事会 令和7年6月7日 以降 退会 6 名(内正会員 6 名)

山本 武 先生 令和7年6月10日退会

吉田 昌志先生 令和7年6月10日退会。

白川 貴浩 先生 令和7年7月31日退会

栗田 正憲 先生 令和7年8月1日 退会

齋藤 義郎 先生 令和7年8月18日退会

中埜 肇 先生 令和7年8月28日退会

また、辻野元祥先生が令和7年9月12日に亡くなっておられることが判明し、退会となった。

本日、**令和7年9月13日現在 正会員 458 名** (462+3-7 で 458 名)

特別会員 6 名 (うち3名が JCOA 名誉会員) 森本清一先生が一般会員から移動で1名増。

顧問(現役教授)6名、特別顧問1名 茂松 日医副会長(正会員に含む) 名誉会員(元教授等)9名

(大阪公立大病院長中村博亮先生、赤木将男先生、根尾昌志先生が令和7年の総会で名誉会員に就任)

OCOA 会員 479 名 (JCOA 名誉会員が計 6 名)

JCOA 正会員 456 名

OCOA 正会員 458 名 - 不明者 1 名 + OCOA 特別会員 5 名 = 462 名 - JCOA 名誉会員 6 名 = 456 名

(OCOA 特別会員の石井正治先生が令和7年6月17日に JCOA のみ退会)

(行方不明の1名の先生は 令和6年11月18日に JCOA のみ退会届提出)

2、第14回ホームページ管理委員会 8/25・WEB 明石理事 (宮口理事の代理)

出席者：木下、宮崎、神藤、宮口、明石、邊見、大窪、和田 アドバイザー 牧元光成 (敬称略)

協議事項：

1. HP 内掲示物の修正やアップデートについて

(1) トップページのお知らせ

2025 ロコモ健康フォーラム終了を掲載、2026 大阪マラソンを掲載予定

(2) 医師・会員のみなさまへのお知らせ

第 38 回 JCOA 学術集会 美し国三重を削除し、第 39 回 JCOA 学術集会 くにうみ学会兵庫を掲載

第 51 回 JCOA 研修会 in うどん県（香川）を掲載

重要項目で日本臨床整形外科学会会員調査票の記入依頼を掲載予定

(3) 研修会案内研修会会場に、第 1 回大阪臨床整形外科医会産業医研修会を追加掲載

(4) コロナ関連情報の大阪コロナウイルス情報サイトを削除

2. バナー広告に関しての報告・協議

9 月 1 日からミナト医科学株式会社を新規掲載、(株) GENOVA と掲載について協議中

3. 新入会員の紹介コーナー

医療法人 松原整形外科の所在地を松原市から東大阪市に修正

三山整形外科リウマチクリニック 豊中市を新規掲載予定

報告事項：

ホームページアクセス状況について 6 月 3389、7 月 3694 と 3000 台で安定している

以上ホームページの状況についての報告とバナー広告のアクセスへの協力の依頼があった。

3、広報委員会

調子理事

会報 51 号を PDF ファイルにて発刊しホームページに掲載した。また JCOA および国会図書館に PDF データにて納本を行った。次年度の会報誌についても、従来通りのページ構成にて編集予定。

次号「大阪臨床整形外科医会会報 52 号」の掲載予定内容が提示され、ほぼ例年のとおり以上、会報誌の報告が行われた。

4、財務・経理からのお願い

堀口副会長

振込先口座

- ・会報：大阪府医師信用組合（メイン口座＝今まで通り）
- ・バナー：大阪府医師信用組合（サブ口座＝今まで通り）
- ・ロコモ健康フォーラム：ゆうちょ銀行 A 口座（大阪府医師信用組合から変更）
- ・名簿広告：ゆうちょ銀行 B 口座（大阪府医師信用組合から変更）

来年度は会長交代に伴う封筒更新などが必要となるが、無駄のないよう発注をお願いしたい。

5、リクルート委員会

邊見理事

リクルート委員会では、労災・府医の新規開業リストや、大学からの新規開業者情報から各大学別の非会員開業医を抽出し未加入者リストを作成（資料 10）。

現在 3 名の入会候補者がおられ、担当委員から状況報告があった。

6、ロコモ健康フォーラム

木下副会長

資料 11、12、13 を参照

OCOA から貴島会長はじめ 9 名、ロコモコーディネーター 6 名、製薬会社 8 社、
産経開発新聞社 6 名、市民 146 名、講師 2 名 合計 177 名 が参加
支出 787,434 円、収入 210,000 円 で差額 577,434 円、と予算内で収まった。
参加者は女性、70 代が多く好評のうちに開催されたことが報告された。

7、第 19 回 OCOA 運動器セラピスト資格継続研修会開催計画状況

10/19・大阪 山本善理事

1) 開催計画進行状況

*日時：令和 7 年 10 月 19 日（日） 12:00～16:30

*場所：大阪府医師協同組合本部 8F 大ホール（昨年と同じ場所です）

*講師（敬称略）および 演題予定

近大	橋本 和喜	運動器リハビリテーションとそのプロセス
大医薬大	小坂 理也	脊椎のリハビリテーション
阪大	吉田 清志	肢体不自由の運動療法
関医大	吉川 尚孝	ロコモティブシンドロームと運動器不安定症

*日本運動器科学会 資格継続単位 4 単位認定済み

ロコモコーディネーター資格継続研修単位 2 単位認定済み

セラピスト研修を受ける方が、ロコモコーディネーターの単位を上乗せでとれる形で受付。

*広報 OCOA ホームページへの掲載、NETLINK による会員への FAX

状況により定期研修会送付物への同封依頼

*受付方法 原則として OCOA ホームページより Web にて受付

8/25 から開始 現在 70 名の応募 会場定員は 130 名

*出務予定（敬称略）山本善、貴島会長、宮崎副会長（学術）、堀口副会長（経理）、
吉田（講師兼任）、橋本（講師兼任）、吉川（講師兼任）、明石、清水、吉村

8、令和 7 年度第 1 回学会雑誌編集委員会 7/16 WEB 山口理事

資料 14

委員会決議事項：

1. 抄録の取扱いについて

令和 7 年 2 月、米国企業 The Research Investment から第 37 回 JCOA 学術集会（熊本）における抄録の複製依頼があったが、抄録の著作権について明示されていないため学術委員会にてこれを断った。

本委員会としては、抄録の著作権の取扱いについては各団体の動向を見極めたうえで判断することとし、現時点では保留とした。

2. 日臨整誌の論文投稿における AI 使用について

AI 使用に関する注意喚起を行うとともに、他団体の動向を注視しつつ、今後、本委員会として投稿規程集への反映を進めていく方針とした。

委員会報告事項：

- ・投稿規程及び本委員会の内規等について 資料に基づき、次について確認された。

主な変更点：表紙（別紙第 1）：学術集会発表演題論文の投稿にも表紙を必須とした。

要旨：すべての論文の要旨を査読システムに組み込むよう変更した。

9、OCAO 新規メーリングリスト（ML）立ち上げの件

神藤理事

8 月より下記 1～6 の ML が稼働しました。

氏名とメールアドレスが紐付けされており、管理が容易になっています。

8 月には、旧メーリングリストを完全に廃止し、新メーリングリストのみの運用となります。

6/17 配信 1～6 以外の ML は廃止致します。

- 1, 常任理事会 ML（常任理事、監事、議長、副議長）
- 2, 理事会 ML（常任理事、理事、監事、議長、副議長、裁定委員）
- 3, 広報委員会 ML
- 4, 大阪マラソン委員会 ML
- 5, 経理委員会 ML

栗本一孝、長谷川利雄、藤本啓治、木下裕介、中谷晃之、中野晋吾、清水広太、明石健一、和田孝彦、調子和則、堀口泰輔 以上 11 名（敬称略）

- 6, 50 周年準備委員会 ML

会長 副会長 5 人 宮田先生 神藤先生 明石先生 大窪先生 山本善先生 吉田先生 増田先生

10、第 2 回日本臨床整形外科医会理事会速報

6/29 東京

神藤理事

【審議事項】

- ・第 38 回学術集会（三重）における日臨整誌特集シンポジウムについて
雑誌第 122 号の特集は「シンポジウム 10【最新の人工関節治療】」に決定した。
- ・委員会または WG 会議は原則として web 形式で実施、対面形式での開催は年度あたり 1 回を上限とし、開催場所は原則として JCOA 事務局会議室とする。
- ・日整会 100 年プロジェクトロゴマーク等の利用について、使用する場合はロゴの近くに「・・・は日本整形外科学会 100 年プロジェクトを応援しています」を記載する。

【各種報告事項】

- ・医療用局所性経費吸収型鎮痛剤に関して、厚労大臣に対して保険給付の維持継続、不採算性の是正及び薬価下支えの措置を要請した。MS 冷シップ「タイハウ」について、市場でのシェアが大きく、販売中止の承認は出来ないと JCOA の対応を回答した。
- ・小児股関節の生殖腺シールド廃止ポスターについての事情説明。

男児では停留精巣で正確な遮蔽が困難、女児では股関節部分に遮蔽具が重なる。

11、第3回日本臨床整形外科医会理事会速報 8/3 東京 神藤理事

【審議事項】

- ・日本フルハップ診断書について、医師及び柔整師の共用様式が交付されることもあるので、医師用をJCOA ホームページからダウンロード使用できるように検討する。
- ・web 会議への旅費を近傍旅費の 5,000 円から 3,000 円に変更する。

【各種報告事項】

- ・JCOA の現状と今後の展望（長谷川理事長）
第 38 回 JCOA 学会 in 三重での講演要旨説明。今後も JCOA が学術と政策の両面から整形外科医の立場を代表し、臨床の声を国に届けていく使命を再確認。
- ・MS 冷シップ「タイホウ」の供給停止。代替品として MS 温シップ「タイホウ」。
- ・整形外科開業医の実態調査、JCOA 学術集会に関して、令和 6 年度医療 DX 導入に関して、等のアンケート結果についての報告（会報誌に報告予定）

12、令和 7 年度第 1 回社会保険等検討委員会 7/26 神藤理事

委員会決議事項:

- 1.令和 8 年度外保連、内保連要望書提出について
各要望項目について、ガイドラインの有無が重視される傾向あり、JCOA でもその作成を検討。
- 2.令和 7 年度 JCOA 保険審査員会議における設問の決定
第 1 部、第 2 部各 14 問の設問を整理し、IT 委員会にウェブアンケートを作成いただき、JCOA 審査員に回答いただく
- 3.令和 7 年度 JCOA 保険審査委員会会議について
合同講演の講師に厚労省医政局の木下医療情報参事官に決定した。

委員会報告事項:

- ・二次性骨折予防継続管理料に関する実態調査報告(第 2 回)
骨粗鬆症専門医の 8 割以上が整形外科医であるが、整形外科診療所が急性期から回復期、在宅への移行過程で治療に十分関与できていない。骨粗鬆症学会の認定医を積極的に整形外科医も取得し、骨粗鬆症医の立場を強化していく必要がある。また整形外科とかかりつけ医の診診・病診連携の強化が求められている。
- ・東京都医師会医療保険委員会から日本医師会への要望 5 項目が紹介された。
- ・令和 8 年度診療報酬改定の厚労省ヒアリングについて
JCOA8 月 5 日、日本運動器果学会 7 月 30 日、JOA7 月 24 日に行われた。
- ・ラジオ波焼灼療法について

13、厚労省ヒアリング 次期診療報酬改定 7/30・WEB 神藤理事

日本運動器果学会のヒアリング項目は、超音波骨折治療法の若年者下腿足部骨折への適応拡大、二次性骨折予防継続管理料 2 の算定施設案件、であった。

14、令和7年度第2回 JCOADiT ブロック実務委員会(関東・中部)

8/28・WEB 神藤理事

- ・各都道府県の災害対応委員会及び実務連絡担当者の設置意義について

【報告事項】

- ・第98回日本整形外科学会学術総会シンポジウム(5月22日)について
「その時あなたははどうする?運動器疾患が多数発生した時」において、JCOAから河村英徳副理事長がシンポジストとして演題「整形外科開業医の取り組み」で参加した。
- ・第38回日本臨床整形外科学会学術集会(三重)におけるシンポジウムについて
「能登半島地震におけるJCOADiT・JCOA会員および関係機関の活動報告」の座長記を基に河村英徳副理事長が報告。
- ・河村英徳副理事長は、JCOADiTの平時の活動は災害救急医療に関する知識や実践手技の啓発及び支援・受援に備えた会員間の「顔の見える関係性」の構築にあること、災害時の活動としては平時に構築した連絡網を活用し、亜急性期以降におけるJCOA所属機関による支援を主たる目的としていることを改めて周知した。

15、令和7年度第2回日本整形外科学会理事会

6/19・東京 神藤理事

【前回の議事録の確認】

1. 令和6年度第11回、令和7年度第1回、臨時理事会議事録の確認

【決議事項】

1. 第1号議案 令和7年度各種委員会等委員及びアドバイザーの委嘱承認の件
2. 第2号議案 令和7年度日本整形外科学会奨励賞選考委員交代の件
3. 第3号議案 令和7年度学術集会会長等選挙管理委員会委員委嘱承認の件
4. 第4号議案 外部理事に対して支給する報酬の具体的な支給金額等の決定の件
5. 第5号議案 会員の入会承認の件

【報告・審議事項】

各種委員会等報告

- ・令和7年度第1回医薬品・医療機器評価委員会(5/22)
神藤佳孝理事から、資料4-4に基づきジョイクル関節注30mgの安定的な供給に関する要望書及びステンレス製インプラントの安定供給のためのワーキンググループの活動状況について報告があった。
- ・議長から執行部で委員会の改編を検討していることが報告された。
- ・日整会 100年プロジェクト実行会議
日整会 100年プロジェクトPR計画について
中島康晴オブザーバー及び岡直樹オブザーバーから、資料15に基づき、PR計画について説明があり、議長から日本の歩き方企画と冊子(8ページ)制作及び日本の歩き方企画をベースにしたウェブサイトの構築の費用について理事会に諮られた。意見を交わした結果、費用について承諾した。

16、令和7年度第3回日本整形外科学会理事会

7/16・奈良 神藤理事

【報告・審議事項】

- ・JOANR:発展的継続可能なナショナルレジストリーへ

斎藤 充副理事長及び金村徳相オブザーバーから、資料 4（画面共有資料）に基づき JOANR の現状及び今後の方向性（JOA から独立させる）について説明された。

- ・日整会 100 年プロジェクト実行会議

広報ポスターについて市民公開講座、100 年プロジェクト用のポスター

中島康晴オブザーバーから、資料 15 に基づき市民公開講座用ポスターのデザインを検討していることが報告された。100 年プロジェクト用ポスター案と発送方法について理事会に諮られた。理事会で意見を交わした結果、発送方法について承諾し、100 年プロジェクト用ポスター 案については画像を加えるなど変更を行い執行部で決定することとした。

ビデオライブラリーWG のメンバー募集について

中島康晴オブザーバーから、資料 15 に基づきビデオライブラリーWG の WG 長に波呂浩 孝副理事長が選出され、メンバー募集について各理事へ募集メールを送付することが報告された。

- ・事務局体制について

事務局次長を置き、総務部に国際専門職を編入し、システム部を設置することを承諾した。

17、第 3 回日本整形外科学会理事会 100 年プロジェクト 7/16・奈良 神藤理事

100 年プロジェクト事業の追加説明について

【確認事項】:具体的企画や広報施策ごとに予算を含めた検討を行う。

- ・令和 7 年度の 100 年プロジェクト関連予算として 9,500 万円を計上していること、また必要に応じて「整形外科学振興事業準備資金」（令和 6 年度第 9 回理事会で承認可決も財源となり得ること。
- ・広く社会や医療界に「運動器の健康」を啓発するため、広告に比べると安価に抑えられる PR 手法を中心とした広報活動を採用していること。
- ・「地球の歩き方」とのタイアップ企画をまずは神戸開催向けに進め、今後の各開催都市への展開はその進捗を踏まえて段階的に判断すること。「地球の歩き方」神戸企画案は 8 月・9 月執行部会議で審議し、次回理事会で了承・最終化する。
- ・100 年記念式典における記念講演について記念講演は山中伸弥先生より内諾を得た。

18、厚生労働省協議報告書

5/28・東京 神藤理事

場所：厚生労働省 共用第 4 会議室

<厚生労働省医政局医療機器政策室> 南川一夫 室長 野田佑真 補佐 有瀧航太 補佐 平野万里江 主査

<日本整形外科学会> 神藤佳孝 理事（ステンレス製インプラントの安定供給のための WG）

松浦佑介 委員（同上） 谷 祐次（事務局）

「ステンレス製インプラントの安定供給に関わる厚生労働省との協議報告書」

- ・厚生労働省の今後の対応 現時点において具体的な対応を約束することは困難であるとしつつも、今後取り得る対応について検討を進めたいとの見解が示された。
 - ・日整会における今後の対応検討事項
- ① チタン・ステンレスの適正使用指針の策定:：小児・抜去前提症例における素材選定の明確化

- ② ステンレス使用症例に関するエビデンス構築：抜去困難性・有用性に関する客観的データの収集と発信
- ③ JOANR へのデータ登録項目の拡充：抜去関連情報を含めた登録の推進と分析の実施
- ④ 小児領域における使用実態の把握と共有：ステンレス代替が困難な症例における供給ニーズの可視化
- ⑤ 国際的製品動向と制度の比較調査の実施：海外の供給体制・価格設定との整合性評価
- ⑥ その他 今後の本ワーキンググループにて検討

19、令和 7 年度医療システム委員会

7/2 WEB 宮崎副会長

【理事会審議付帯事項】

日本フルハップ診断書について、医師用と柔整師用が混在している書類が使用されているため、共用の診断書ではなく医師用の診断書を再提出していただく旨の文章を会員に案内することを委員会決議事項として北村担当理事から理事会に上程、決議されてから会員通知を実施する予定。

【協議・検討事項】

1. 令和 7 年度 JCOA シンポジウム(11/9)について

(1) テーマ案は受領委任払いから療養費払いに拡げる。

「療養費はだれのため？～その支払いは正当ですか？～」をテーマとする。

・基調講演案は基調講演 1 が「療養費の仕組み、運用について（仮題）」で内容は療養費払いの概説で厚労省医政局長の森光敬子氏に適任者の紹介を依頼する。

基調講演 2 は「医療費の今後の展望（仮題）」で内容は医療費の現況、今後の展望。梅村 聡 衆議院議員に依頼する。選挙の結果次第では釜范 敏先生も候補にあがる。

(2) シンポジスト案は 医療システム委員会、柔整審査委員、保険者、行政、他科医師から 1 名ずつ選出する。柔整審査委員は大阪府国保連柔道整復療養費審査委員長として岸本 成人先生に依頼。

2. 「医師のための保険診療基礎知識(2019 年改訂)~医業類似行為関連 Q&A」改定について

内容は大幅に変えるところはないよう。健康被害調査は最新のものに更新する。

3. ノバルティス健保 柔整審査請求の事例紹介

松本委員から原 直人氏から提供された資料の紹介あり。左母趾種子骨骨折の医科併給の療養費を不支給にしたところ、再審査請求があり、関東信越厚生局から不支給処分を取り消すと決定された。健保組合は医科併給の対応は変更しない方針である。委員会からはこのような事例が増えるのであれば健保組合が裁判をおこすのも一つの方法であるとの意見あり。

4. 小冊子「鍼灸院ってどんなところ？」の内容修正について

【資料】

吉田委員長から 2023 年度自賠責の柔整施術費、約 510 億円で 2 年連続増、2024 年度自動車保険の概況についての資料提示があった。

20、研修会実施報告

宮崎副会長

第 375 回大阪臨床整形外科医会研修会（令和 7 年 4 月 19 日 対面開催 共催 大正製薬）

参加者数 110 名(会員 93 名 非会員 17 名)

講演Ⅰ 日整会 N1、6、R 日医 CC73 単位申請 JOINTS 96 名(QR 86 名 手動 10 名)

日本リウマチ学会(1 単位) 日本リウマチ財団(1 単位)

講演Ⅱ 日整会 N12、13、Re、日医 CC61 単位申請 JOINTS 96 名(QR 86 名 手動 10 名)

日本リウマチ学会(1 単位) 日本リウマチ財団(1 単位)

日本リハビリテーション学会(専門医 1 単位 認定臨床医 10 単位)

第 376 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 7 年 5 月 10 日 対面開催 共催 エーザイ)

参加者数 110 名(会員 90 名 非会員 20 名)

講演Ⅰ 日整会 N1、6、R、日医 CC73 単位申請 JOINTS 88 名(QR 81 名 手動 7 名)

日本リウマチ学会(1 単位)

講演Ⅱ 日整会 N11、13、Re、日医 CC61 単位申請 JOINTS 91 名(QR 84 名 手動 7 名)

日本リウマチ学会(1 単位) 日本リハビリテーション学会(専門医 1 単位 認定臨床医 10 単位)

第 377 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 7 年 8 月 23 日 対面開催 共催 旭化成ファーマ)

参加者数 102 名(会員 83 名 非会員 19 名)

講演Ⅰ 日整会 N4、7、SS、日医 CC77 単位申請 JOINTS 81 名(QR 73 名 手動 8 名)

日本リウマチ学会(1 単位) 日本リウマチ財団(1 単位) 日本骨粗鬆症学会(5 単位)

講演Ⅱ 日整会 N9、10、Re、日医 CC61 単位申請 JOINTS 85 名(QR 77 名 手動 8 名)

日本リウマチ学会(1 単位) 日本リウマチ財団(1 単位)

日本リハビリテーション医学会(専門医 1 単位 認定臨床医 10 単位)

21、第 69 回大阪整形外科セミナー

8/2 山口 理事

令和 7 年 8 月 2 日 ダイビル本館 4 階会議室および WEB

共催 大阪整形外科セミナー、旭化成ファーマ 後援 大阪臨床整形外科医会

<症例検討> 4 演題 座長 神藤佳孝 先生

<特別講演> 「脊椎外科医の骨粗鬆症治療介入：背骨を守るために」

演者 住友病院 脊椎センターセンター長 賢 整形外科医長 北口 和真 先生

日整会 N4、7、SS 大阪府医師生涯研修 1 単位 [59]

大阪整形外科セミナー世話人会

参加者：大野先生、神藤先生、岸本先生、小坂先生、星先生、三木先生、今村先生、榎本先生

津田先生、末吉先生、山口先生、星野先生、青野先生（ご所属略、順不同）

第一三共(株) 岡田、宮里、旭化成ファーマ(株) 三井（敬称略）

2. 次回、次々回当番世話人の選定・確認

- ・第 70 回当番世話人はこさか整形外科リウマチクリニック 小坂理也先生
- ・第 71 回当番世話人は大手前病院 中島弘司先生

3. 回りの日程

- ・第 70 回大阪整形外科セミナーは 2026 年 1 月 31 日（土）（仮予定）
TKP 大阪淀屋橋カンファレンスセンター B1F「ホール G」にて開催（

4. 次回テーマ：骨粗鬆症脊椎に対する治療戦略

「適切な保存療法から手術戦略、そして最新の内視鏡手術まで」

演者：関西医科大学病院 整形外科 助教 石原 昌幸先生

5. 次回一般演題座長の選定 ・北摂総合病院 劉先生に共催メーカーが打診する。

・劉先生が無理だった場合はおおさかグローバル整形外科病院 青野先生に打診する。

・青野先生が無理だった場合は北野病院 田村先生に打診する。

6. その他

①世話人交代、新世話人承認

・サトウ病院 古瀬洋一先生の後任として榎本整形外科 榎本 誠先生の承認とご挨拶

・大阪医療センター 三木 秀宣先生の後任として大阪医療センター 科長 阪上彰彦先生の承認

②監事、事務局選定の確認

・《監事》済生会中津病院 星野 雅俊先生の承認

・《事務局》堺市立総合医療センター 大野一幸先生

7. 第 68 回会計報告（収入）前回繰越金 31,630 円 単位取得費用 1,000 円×6 人⇒6,000 円 利息 16 円 計 37,646 円（支出）日整会単位取得費用 10,000 円 次回第 69 回繰越金 37,646-10,000=27,646 円 上記に関して、会計の岸本先生、監事の星野先生より相違が無い事を確認済。

22、その他

貴島会長

・2031 年 JCOA 学会が大阪で開催になる可能性あり。準備に取り掛かる必要がある。

この議事録は、

定款第 40 条の規定に従い、代表理事及び出席監事が記名、押印する。

令和 7 年 9 月 13 日

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

議長 会長

貴島 浩二



監 事

黒田 晃司



監 事

栗本 一孝



監 事

前中 孝文

